

宮崎10号 延岡道路北地区付属物設置工事



NISSIN KOHGYO

信頼Reliance・創造Innovation・挑戦Challenge



がんばろう！日本

工事期間

平成 24年 7月 13日 ～ 平成 24年12月 10日

工事目的

主として進行方向を誤った車両が路外、対向車線または歩道等に逸脱するのを防ぐとともに、車両乗員の傷害および車両の破損を最小限にとどめて、車両を正常な進行方向に復元させることを目的として防護柵が設置されているが、道路に沿って連続的に設置されることから道路景観を構成する要素の一つとなっています。これまで、防護柵は、白色が標準として用いられてきましたが、今後、21世紀に「美しい国づくり」を進め日本の魅力を高めていくために、防護柵も景観に配慮し自動車を安全かつ円滑に通行させる為の工事です。

施工箇所

宮崎県延岡市北川町長井地区～大峽町

総延長＝6.0km



工事内容

緑石工(樹脂ブロック設置)



N=880個

センターライン等に設置し車線を分離し自動車を安全かつ円滑に通行させるために設置します。
事故・災害等により道路を規制する場合には簡単に撤去できるようになっています。

防護柵工(ガードレール設置)



Gr-A-4E=2192m・Gr-B-4E=1862m・Gr-A-2B=41m

進行方向を誤った車両が路外へはみ出して走行しようとした場合に逸脱することを防ぎ、車両の進行方向を誘導するとともに、ある程度の衝撃を吸収し、車両そのものや車両乗員、歩行者あるいは道路沿いの建造物や街路樹を保護・抑制するために設置します。

橋梁付属物工(落下物防止柵設置)



北川第一橋＝456m・北川第二橋＝91m

橋梁の上部に取り付けられる鋼製網柵のことです。
事故などがあつた時に積荷等の落下防止、あるいは投物防止のために設置します。

道路付属施設工(視線誘導標設置)



1式

道路の側面に設置して、路側の表示をするもの。
道路左側と道路右側の誘導標の反射体が違う色で光るようになっていて、先方の道がどちらに曲がっているかの判断が付くように設置します。

発注者 国土交通省 延岡河川国道事務所



延岡河川国道事務所 (TEL)0982-31-1155

主任監督員 岩熊 真一

施工者 日新興業 株式会社



本社 土木部 (TEL)0982-33-2457

北地区作業所

現場代理人 梅田 誠二

監理技術者 志田 和弘

現場代理人



監理技術者



私達が現場にいます。
お気軽にお声をお掛け下さい。
工事期間中ご迷惑をお掛けしますが、
皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。

地域への皆様へ

私達 日新興業 北地区作業所は、少しでも地域の皆様のお役に立てればと思い「こども110番」おたすけハウスに加盟致しましたことを報告致します。
何か有りましたら気軽に現場事務所まで御立寄り下さい。

その他、本工事についての御意見、御要望などがございましたら、お手数ですが現場事務所まで御連絡下さい。

一日でも早く、安全に工事を完成させて、御迷惑の期間を短縮したい所存ですので、御協力のほど、重ねてお願い申し上げます。



早期完成に向け、安全に且つより良いものづくりを推進していきます。
皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。



日新興業(株) 北地区作業所職員一同

